



# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2025-2026  
クラブテーマ

友に学び、ともに歩み、共に成長



2025. 12. 15

外部卓話

No.2545 No. 17



会長挨拶  
三条南ロータリークラブ  
会長  
**木村 譲**

本日の卓話は、結城 靖博さんにお願いしています。

結城さんは古くからのお付き合いになりますが、はっきりとしたきっかけを思い出せないほど、ごく自然に交流が始まりました。これまで同じ団体に所属したことはなかったかと思いますが、地域で活動する中で顔を合わせる機会が多く、交流を深めてまいりました。

結城さんは三条市のご出身で、155 年もの歴史を誇る老舗料亭「遊亀楼 魚兵（ゆうきろう うおひょう）」の代表取締役でいらっしゃいます。その他にも、二トや引きこもりの方々に就労機会を提供する会社「Connection」や、まちづくり会社「株式会社 燕三条」の代表も務めています。三条商工会議所青年部、燕三条 匠の守護者プロジェクト、三条廻合戦、燕三条 戦隊力ジレンジャーなど、数多くの活動に関わっていますが、すべてお話しやすくと 2 時間ほどになってしまいそうですので、本日は特に最近の活動を中心にお話しやすくようお願いしております。

「お願いされたら断れない性格」と伺っておりますので、のちほど、当クラブへの入会もお誘いしてみたいと思います。

さて、先日、来年のセミナーなどが開催され始めているというお話をさせていただきました。さらに、再来年の話も進み始めております。

以前にもお話ししましたが、再来年は当クラブにとって周年の記念の年であると同時に、ガバナー補佐を輩出し、IM（インターナシティ・ミーティング）を主管する年度でもあります。この件に関する詳細は、また改めてご説明させていただきます。

これまで、次年度の情報などはセミナーに参加しなければ分かりませんでしたが、最近は「マイロータリー」で得られる情報が大変充実してきています。マイロータリーには、個人の情報や当クラブの情報だけでなく、クラブ運営に役立つ多くのツールが用意されています。昨年も利用したボリオ撲滅キャンペーンのポスターをはじめ、会員増強目標の設定、半期報告書の作成、そしてロータリーの最新ニュースや各プロジェクトの情報など、ロータリー活動をより深く理解し効率的に運営するための様々な機能が利用可能です。

昨日、マイロータリーに様々な動画が入っているのでぜひ見てほしいといわれ、いくつか動画を見させていただきましたが、委員長ごと/or役職ごとにありますので、来年の役職が決まりましたら見ていただきたいと思います。

話は変わりますが、12月8日に青森県で地震が発生しました。一時、津波警報も発令され心配しておりましたが、現時点では甚大な被害は報告されておりません。

今後、何らかの支援が必要な状況になりましたら、皆様にご協力を願いがあるかもしれません。その際はどうぞよろしくお願いいたします。

また、ロータリー財団からは、スリランカのロータリー地区を支援するため、一時的な「サイクロン『ディトワ』救援基金」が設置されたとの連絡が入っております。

このサイクロンは 11 月 27 日から 29 日にかけて発生し、スリランカの国土の 5 分の 1 が水浸しとなり、約 800 人の方々が亡くなっています。

この支援要請は、定期的に配信されるロータリーからのメールで案内されておりました。今後、地区からも協力依頼が来る可能性があります。

最後に、クリスマス例会にご招待するゲストについてです。現在 4 名の方にご参加いただけます。皆様の周りに、ロータリーに関心をお持ちの方や、もう一度例会の雰囲気に触れてほしい方がいらっしゃいましたら、ぜひお声かけください。ロータリークラブの魅力を一人でも多くの方に知っていただき、共に活動していただくことで、より良い社会を築いていくことができると思っております。皆様、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

## マイロータリー(My Rotary) アカウント登録して始めましょう！



「マイロータリー」と検索して <https://my.rotary.org/ja/> 「アカウント登録」から作成します。

氏名、Eメールアドレスを入力します。その際のメールアドレスは、入会時にお届けいただいたもので、事務局があらかじめ R+ に登録したものを使用します。

ご不明の場合や別のアドレスをご使用になりたい場合は、事務局へお問い合わせください。

**よいことの  
ために  
手を取りあおう**

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツソ(イタリア)  
第2560地区ガバナー 室賀 信宏(白根)  
第4分区ガバナー補佐 青柳 修次(燕)  
会長 木村 譲  
幹事 加藤 一芳  
S A A 関 博市

事務局  
〒955-8666 三条市旭町 2-5-10  
三条信用金庫本店内  
TEL 0256-35-3477  
FAX 0256-32-7095  
E-mail: info@sanjo-minami.jp  
URL: https://www.sanjo-minami.jp

- ◆幹事報告 加藤一芳幹事
- ◆本日の出席：39名中28名
- ◆先週までの通算出席率：89.70%
- ◆本日のお客様：▷遊亀楼 魚兵 結城靖博様
- ◆メークアップ：▷12/11三条東RCへ峰嶋由紀子さん

## ニコニコボックス

12/15 20,000円 今年度累計 278,000円

木村会長「結城様、本日はお忙しい中卓話に来ていただき  
ありがとうございます。楽しみにしております」  
加藤幹事「結城靖博様、卓話とお弁当を楽しみにしています」

大渢さん、星野さん「結城さん本日の卓話ご苦労さまです」  
田代さん、吉沢さん、田中さん「結城さん、ようこそ。本  
日は宜しくお願ひいたします」

坂井さん「パンダが居なくなつても熊がいっぱい居るので」  
荒澤さん「今年最後の出席となります。皆様良いお年を」  
佐々木さん、平松さん、渡辺(俊)さん、銅治さん、永桶さん  
石山さん、関さん、藤田さん、田村さん、木村雅さん

「BOXに協力します」

野崎さん「BOXにご協力ありがとうございました」

## 卓話

### 「郷土愛の醸成」



### 遊亀樓 魚兵

結城 靖博 様

【自己紹介】結城 靖博（ゆうき やすひろ）

1984年5月8日生まれ 41歳 新潟県三条市出身

ねずみ年 おうし座 AB型 座右の名：他力本願

有限会社魚兵 代表取締役 コネクション代表

株式会社燕三条 代表取締役

### 今日の結論

「故郷が好きだと人生は豊かになる」

### 昔ながらの商売「料亭」

#### 料亭のはじまり

江戸時代の中期、料理茶屋（今から300年くらい前）

明治30年代、料亭という名称が一般化（130年前）

#### 料亭の特徴

- ・お座敷（個室しかない）
- ・懐石料理（メニューがない）
- ・完全予約制（定休日営業時間がない）
- ・斜陽産業（新規開業がない）

#### 料亭の需要

#### 全盛期と変化（昭和時代）

高度経済成長期を経て、企業の接待や大規模な宴会の場として隆盛を極めました。

#### 衰退と課題（平成時代）

しかし、平成期に入ると、法人の交際費支出の大幅な減少（1998年から2002年の5年間で26%減）に伴い、料亭の事業所数も減少しました。

#### コロナ禍（令和時代）

倒産件数の増加: 2024年飲食店全体の倒産件数は過去最多を記録しており、コロナ禍による需要の変化、人手不足、原材料費の高騰などが複合的に影響しています。

### 明治期の料亭の役割

昔の料亭は、食事を楽しむだけの場所ではなく、人と人とのつながり大切な場でした。商人や地域の名士、文化人たちが集い、語り合い、信頼関係を深めることで、地域のつながりや新しい動きが生まれていきました。また京や大阪を中心とした上方の流行や文化を、地方に伝える役割も担っていました。料理の様式や器、しつらえ、言葉遣いなどを通して、当時の最新の文化に触れる場所だった。さらに、旬の食材や季節のしつらえによって、四季の移ろいを五感で感じられる空間もありました。料理だけでなく、空間全体で自然や季節を味わうことができました。料亭には、日本ならではの作法や美意識、芸能などの文化も息づいており、文化を学ぶ場でした。つまり明治期の料亭は、人と文化、季節や風土を結びつける、地域にとって欠かせない存在でした。

#### 温故知新

現代の「料亭」も「ひと」「もの」「こと」が集まる  
プラットフォームへアップデートする必要がある

### 遊亀樓 魚兵（ゆうきろううおひょう）



有限会社 魚兵 企業理念【郷土愛の醸成】

所在地：新潟県三条市

事業内容：飲食業 その他

従業員数：30名（アルバイト/パート含む）

会社設立：昭和45年（創業明治元年）



- ・新潟を感じてもらう
- ・郷土料理を守る
- ・地場産業を応援する
- ・食文化を伝える
- ・地域の繋がりを作る
- ・お祭りや伝統を広げる
- ・地域を盛り上げる



地域を知り、地域に関わり、地域を伝える  
プラットフォームを目指して

「故郷が好きだと人生は豊かになる」

- ・三条凧合戦 タイシラチャ日本祭り事業
- ・三条商工会議所青年部×燕三条工場の祭典  
スペインバルセロナ出展事業

